

證憑書類ヲ添へ書面(看護婦ノ願書ニハ看護婦取締ノ認印ヲ要ス)ヲ以テ願出ツヘシ

三忌服又ハ父母ノ祭日ニテ出勤セサルトキハ書面(看護婦ノ届書ニハ看護婦取締ノ認印ヲ要ス)ヲ以テ届出ツヘシ

第二章 守衛長守衛

第五條 守衛長守衛ハ庶務部主任ノ指揮監督ヲ承ケ門衛ヲ爲スノ外晝間ハ二回夜間ハ三回以上院ノ内外ヲ巡回シテ火災盜難ノ警戒及掃除ノ監督ヲ爲スヘシ巡回時間ハ別ニ之レヲ定ム

第五條ノ二 守衛長ハ守衛及小使下足番浴室番掃除番ノ勤務ヲ監督スヘシ

第六條 守衛長守衛ハ通シテ晝間二名ツ、勤務シ且ツ交互一名ツ、宿直スヘシ但宿直ノ翌日ハ非番トス

第七條 各室ノ蒸氣並給水装置ニ漏洩又ハ危険ノ虞ナキ様注意スヘシ

シ

第八條 火氣配置ノ箇所ニハ一層注意ヲ加へ嚴密警戒スヘシ

第九條 院内ニ架設ノ電線及電燈瓦斯等ニ異常ナキヤ否ニ注意スヘシ

第十條 鎖鑰ヲ施シアル箇所ハ嚴重ニ注意スヘシ

第十一條 供待車ハ大立關前馬車廻柵側ニ小立關ハ東西側ニ並列セシメ通行ノ妨碍ヲナサ、ル様注意スヘシ

第十二條 各所ノ戸扉ヲ開放シアルトキハ之ヲ閉チ尙鎖鑰アルモノハ之ヲ施スヘシ

第十三條 戸扉ノ開閉及院内歩行者ニ對シ苟モ粗暴ニ失スルコトナキ様注意セシムヘシ

第十四條 來院者ニ注意シ怪シキ舉動アルモノハ來意ヲ問糺シタル上直チニ立去ラシムルカ又ハ必要ト認ムルトキハ庶務部主任ニ申

告スヘシ

第十五條 患者溜ニ携帯物品ヲ放置シ又廊下等ニ諸物品ヲ散乱セシメサル様注意シ若シ遺忘ニ係ルモノアルトキハ速カニ會計部主任ニ申告スヘシ

第十六條 本院内物品販賣店員以外ノ商人入り來リタルトキハ直チニ立去ラシムルモノトス但患者看護婦付添人ノ注文物品ヲ届ケ來リタルトキハ守衛ニ於テ之ヲ取次キ注文主ニ交付スルカ又ハ其物品ヲ検査シタル上直接ニ注文主ニ届ケシムルモ妨ケナシ

第十七條 玄關、各室洗面場、水流シ場、便所、痰壺ノ掃除ヲ監守シ不潔ノ箇所アルトキハ直チニ其擔當人ニ注意シ時宜ニ依リテハ會計部主任ニ申告スヘシ

第十八條 井戸、溝渠、庭園、構外道路ノ掃除ヲ監守シテ不潔又ハ危険ナキ様注意スヘシ

第十九條 院内ニ於テ音曲、勝負事、爭論其他靜肅ヲ欠ク行爲アルトキハ直チニ注意ヲ加ヘ若シ肯セサルトキハ庶務部主任ヘ申告スヘシ

第二十條 表門及通用門ハ日出ニ開扉シ日没ニ閉鎖スヘシ但表門ハ本扉閉鎖ト同時ニ脇門ヲ開キ脇門ハ午後十時ニ閉鎖スヘシ

第二十一條 閉鎖後開扉ノ請求アルトキハ事務宿直員ノ指揮ヲ承クヘシ

第二十二條 門、塙、壁、戸扉其他ニ破損又ハ異狀ヲ認メタルトキハ會計部主任ニ申告スヘシ

第二十三條 火災、盜難ニ付急報セントスルトキハ呼子笛ヲ乱鳴スヘシ

第二十四條 毎日取扱ニ係ル事故ハ細大トナク日誌ニ記載シテ庶務部主任ノ檢印ヲ受クヘシ

第三章 看護婦取締

第二十五條 看護婦取締ハ醫員庶務部主任ノ指揮監督ヲ承ケ看護婦ノ勤務ヲ監督スル外倫理的講義ヲ爲スヘシ但シ時宜ニ依リ看護婦生徒養成ニ從事セシムルコトアルヘシ

第二十六條 看護婦取締ハ本院内ニ宿泊スヘシ但時宜ニ依リ通勤ヲ許スコトアルヘシ

第二十七條 看護婦取締ハ晝間二回夜間二回以上診察所及病室ヲ巡回シテ看護婦ノ勤務ヲ視察スル外常ニ其素行ヲモ視察シ職務ノ怠惰若クハ素行ノ修ラサルモノアルトキハ直チニ之ヲ戒飾シ時宜ニ依リテハ醫員又ハ庶務部主任ニ申告スヘシ但巡回時間ハ別ニ之ヲ定ム

第二十八條 勤務時間中ハ必ス制服ヲ着用スヘシ

第二十九條 毎日取扱ニ係ル事故ハ細大トナク監督日誌ニ記載シテ庶務部主任ノ検印ヲ受クヘシ

第三十條 非番看護婦ニハ時間ヲ定メ倫理ノ講義ヲ爲スヘシ講義時間及教科目ハ庶務部主任ヲ經テ院長ノ認可ヲ受クヘシ

第三十一條 看護婦室ニハ猥リニ他人ヲ入レシムヘカラス

第三十二條 非番看護婦ノ外出セントスル時ハ能ク其用向ヲ調査シタル上外出簿ニ認印スルモノトス

第三十三條 看護婦ノ欠勤疾病其他ニ付又ハ請暇セントスル場合ハ篤ト其事實ヲ調査シタル上其書類ニ認印スルモノトス

第三十四條 各看護婦室ニ於テ保管ニ係ル物品ハ少クモ毎月一回帳簿ニ對照シテ検査ヲ遂ケ散亂セシメサル様又藥品繃帶材料燃料蒸氣瓦用水等ハ濫費セシメサル様注意スヘシ

第三十五條 前六條ノ規定ハ看護婦生徒ノ取扱上ニモ之ヲ適用ス

第四章 看護婦

第三十六條 看護婦ハ醫員庶務部主任ノ指揮監督及看護婦取締ノ監

督ヲ承ケ患者ノ看護受持病室診察所ノ整理ヲ爲スヘシ

第三十七條 看護婦ハ本院内ニ宿泊スヘシ

第三十八條 勤務時間中ハ必ラス制服ヲ着用スヘシ

第三十九條 時々病室内ヲ見廻リ患者ノ狀況ニ注意シ若シ變狀アル

ルハ速ニ醫員ニ申告スヘシ

第四十條 患者ニ接スルニハ懇切丁寧ヲ專ラトシ苟モ粗忽不遜ノ言

行ナキ様注意スヘシ

第四十一條 手術日ニハ其都度醫員ノ指揮ニ依リ患者ノ用意手術室

ノ準備ヲナスヘシ

第四十二條 調劑所ヨリ藥劑ヲ受取リタルルキハ必ラス各處方録ニ對

照シタル後患者ニ配付スヘシ

第四十三條 病室内ニ於テ音曲勝負事爭論其他靜肅ヲ欠ク行爲アル

ルハ直チニ注意ヲ加ヘ若シ肯セサルルキハ醫員庶務部主任ニ申告ス

ヘシ

第四十四條 患者外出セントスルルキハ醫員ニ其旨ヲ申告シテ許可ヲ

受ケシムベシ若シ時間内ニ歸院セサルモノアルルキハ醫員又ハ庶務

部主任ニ申告スヘシ

第四十五條 受持病室ノ備品ハ少クモ毎月一回備品現在簿ニ對照シ

テ之ヲ點檢シ破損アルルキハ速ニ會計部主任ニ申告スヘシ

第四十六條 藥品、綑帶材料、及燃料、蒸氣、瓦斯、用水等ハ濫費セサル様注

意スヘシ

第四十七條 常ニ病室内外ノ掃除ニ注意スヘシ

第四十八條 名義ノ何タルヲ問ハス決シテ患者其他ヨリ金品ノ贈與

ヲ受クヘカラス

第四十九條 非番外出ハ左ノ時間内ニ於テナスモノトス但時宜ニ依

リ之ヲ差止ムルコトアルヘシ

一月一日ヨリ五月三十一日マテ及十月一日ヨリ十二月三十一日マテ平日ハ午後四時ヨリ同八時マテ祝日大祭日日曜日ハ午後二時ヨリ同八時マテ

六月一日ヨリ七月十日マテ九月十一日ヨリ同月三十日マテ平日ハ午後四時ヨリ同九時マテ祝日大祭日日曜日ハ午後二時ヨリ同九時マテ七月十一日ヨリ九月十日マテハ午後二時ヨリ同九時マテ

第五十條 外出セントスルキハ外出届出簿ニ其用件ヲ記入捺印シ看護婦取締ノ認印ヲ受ケタル上庶務部主任又ハ事務宿直員ニ届出ツルモノトス歸院シタルキ亦同シ

第五十一條 付添婦ヲ指揮監督シテ能ク其任務ヲ全フセシメ若シ從ハサルモノアルキハ看護婦取締又ハ庶務部主任ニ申告スヘシ

第五十二條 付添婦ニハ看護婦ノ私用ヲ辨セシムヘカラス

第五十三條 看護婦室ニハ猥リニ他人ヲ入ルベカラス

第五章 電話交換手

第五十四條 電話交換手ハ庶務部主任ノ指揮監督ヲ承ケ電話交換ノ事務ニ従事スヘシ電話交換手ハ晝間二名ツ、勤務シ且ツ交互一名ツ、宿直スヘシ但宿直ノ翌日ハ非番トス

第五十五條 電話交換室ニハ猥リニ他人ヲ入ルベカラス

第六章 給仕

第五十六條 給仕ハ會計部主任ノ指揮監督ヲ承ケ諸種ノ用務ヲ辨スルモノトス但左ノ箇所ニ分屬セシム

- 一 藥局 一人
- 二 事務室 一人
- 三 受付室 二人

第五十七條 給仕ハ職員勤務時間ヨリ早ク出勤シ遅ク退出シテ各其所屬室ノ整備ニ従事スヘシ

第五十八條 藥局ニ分屬ノモノハ患者ニ投藥番號札ヲ交付スルト更

ニ其番號札引換ニ錯誤ナキ様藥劑ヲ交付スルトニ從事スヘシ

第五十九條 事務室ニ分屬ノモノハ電話ノ取次及簿書ノ傳送其他ニ
從事スヘシ

第六十條 受付室ニ分屬ノモノハ來院者ノ案内患者入院退院通知簿
ノ傳送及受付番號札ノ取纏等ニ從事スヘシ

第七章 小使

第六十一條 小使ハ會計部主任ノ指揮監督ヲ承ケ院ノ用務院内ノ掃
除給水點消火電話ノ取次キ郵便物文書ノ送收其他ノ雜務ニ從事ス
ヘシ藥局及實驗室ニ小使各一人分屬セシム

第六十二條 本館並ニ各廊下病室ヲ除クハ朝夕二回掃除スヘシ

第六十三條 各診察所ニ給水ヲ要スルキハ缺乏セサル様注意スヘシ

第六十四條 各局所ヨリ發送スル文書ハ左ノ手續ニ據リ取扱フヘシ

一 市内ヘノ發送文書ハ速ニ送達シテ受領印ヲ取り置クヘシ

二 郵便物ノ發送ハ書留ナルキハ最寄郵便局ニ持參シテ受領證ヲ取
リ其發送主任者ヘ交付シ普通ナルキハ最寄郵便函ニ投入スヘシ

三 電報ノ發送ハ直チニ最寄郵便局ニ差出スヘシ

第六十五條 郵便物及電報ノ配達アリタルキハ郵便電報受印簿ニ記
載ノ上直チニ其宛名者ニ配付シテ受領印ヲ取り置クヘシ

領收證ヲ要スル郵便物及電報ナルキハ直チニ宛名者ニ交付シテ添
付ノ領收證用紙ニ受領印ヲ取り之ヲ其配達人ニ返付スヘシ

第六十六條 藥局ニ分屬ノ小使ハ藥局ノ掃除給水點消火製劑ノ下働
キニ從事スヘシ

第六十七條 實驗室ニ分屬ノ小使ハ實驗室臨床部ノ掃除給水點消火
動物ノ飼養動物舎ノ掃除ニ從事スヘシ

第八章 火夫

第六十八條 火夫ハ會計部主任及機關手ノ指揮監督ヲ承ケ蒸氣機關ノ火焚及外科婦人科手術室蒸氣機關室ノ掃除並ニ諸消毒ニ従事スヘシ

第九章 下足番

第六十九條 下足番ハ會計部主任ノ指揮監督ヲ承ケ來院者ノ下足傘杖ノ監守及玄關ノ掃除ヲナスヘシ

第七十條 來院者アリタルトキハ番號札引換ニ下足傘杖ヲ預リ退出ノトキハ番號札引換ニ預リ品ヲ交付スヘシ

第七十一條 玄關及下足棚ハ朝夕二回掃除ヲ爲シ其附近モ亦常ニ不潔ナラサル様注意スヘシ

第七十二條 舉動怪シキモノ入來リタルトキハ庶務部主任又ハ守衛ニ急報スヘシ

第十章 浴室番

第七十三條 浴室番ハ會計部主任ノ指揮監督ヲ承ケ左ノ區分ニ依リ入浴準備ヲナシ浴後ハ清潔ニ掃除ヲナスヘシ

一 患者用浴ハ夏季ニハ毎日其他ハ隔日トス

二 治療浴及手術用浴等ハ必要アル場合トス

三 職員宿用浴ハ毎日トス

第七十四條 使用後ノ綑帶、ガーゼ其他ノ汚物ハ堆積セサル様焼却スヘシ

第七十五條 前條ノ點火ハ危險ナキ様注意シ消火ノ際ハ守衛ノ點檢ヲ受ケ且場ノ内外ヲ清潔ニ掃除スヘシ

第十一章 掃除番

第七十六條 掃除番ハ會計部主任ノ指揮監督ヲ承ケ便所並ニ痰壺ノ掃除ヲナスヘシ

第七十七條 便所ハ毎日二回以上掃除シテ常ニ清潔ヲ保ツヘシ

第七十八條 便所付屬ノ手水鉢ハ毎日二回以上掃除シ且水ノ欠乏セサル様注意スヘシ

第七十九條 痰壺ハ毎日一回以上必ス掃除ヲ爲シ清潔ヲ保ツヘシ

第十二章 賄夫

第八十條 賄夫ハ會計部主任ノ指揮監督ヲ承ケ患者ニ供スル寢具ノ配搬及食物ノ調理配膳ヲナスヘシ

第八十一條 食物ハ献立簿ニ據リテ調理シ會計部主任検査ノ上各室ニ配付スヘシ

第八十二條 各室ノ食事終了後食器ヲ收集シテ紛亂セサル様注意スヘシ

第八十三條 購買物品ハ如何ナル場合ト雖モ直接商人へ注文シ又ハ受負スルコトヲ得ス

第八十四條 入院患者アルコトヲ指示セラレタルキハ當該病室ニ寢

具ヲ配搬スルト同時ニ入院患者心得書ヲ配付シ且氏名札ヲ掲クヘシ

第八十五條 退院患者アルコトヲ指示セラレタルトキハ寢具及氏名札ヲ當該室ヨリ收集シテ紛亂セサル様注意スヘシ

第十三章 磨工

第八十六條 磨工ハ會計部主任ノ指揮監督ヲ承ケ器械ノ修理研磨及保存ニ關スル業務ニ従事スヘシ

第八十七條 修理又ハ研磨ヲ要スル器械ハ速ニ施工シ當該物品取扱主任ニ交付スヘシ

第八十八條 器械ノ破損シタルトキハ再ヒ使用ニ堪ユヘキモノハ之ヲ修理シ使用ニ堪難キモノハ當該物品取扱主任ニ申告スヘシ

第十四章 宿直

第八十九條 看護婦ハ各其受持看護婦室ニ一人宿直スヘシ

第九十條 小使ハ二人調劑所、實驗室分屬ノモノヲ除ク、小使室ニ宿直スヘシ。實驗室ニ分屬ノ小使ハ、孵卵器ニ點火ノ場合該室ニ宿直スヘシ。

第九十一條 下足番ハ交互一人門衛ニ宿直スヘシ。

第九十二條 賄夫ハ三人以上賄所ニ宿直スヘシ。

第十五章 非常

第九十三條 本院附近又ハ院内ニ火災起リタルトキハ本院職員及警察官ノ指揮ヲ承ケ諸備人ハ院内ノ警戒患者ノ救護、器械器具、寢具、簿書ノ搬出及消防ニ従事スヘシ。

第九十四條 守衛ハ表門及通用門ヲ警戒シ若シ怪シキ舉動アルモノ入來リタルハ警察官ニ急報スヘシ。

第九十五條 看護婦取締ハ患者救護ノ傳令ニ従事スヘシ。

第九十六條 看護婦ハ患者ノ救護ニ従事スヘシ。

第九十七條 電話交換手、給仕、小使、磨工ハ器械器具、寢具、簿書ノ搬出ニ従事スヘシ。

第九十八條 火夫、下足番、浴室番、掃除番、賄夫ハ消防ニ従事スヘシ。

○被服給與規程 (大正二年四月一日)

第一條 守衛長、守衛、看護婦、取締、給仕、小使、火夫、磨工、下足番、浴室番、掃除番、賄夫ニ左ノ現品ヲ給與ス。

但婦女ノ給仕、小使、掃除番、賄夫ニハ本項ノ例ニ依ラス作業衣ヲ給與スルコトヲ得。

守衛長、守衛

一 帽

一 冬服

一 夏服

一 外套



後子

帽章

地質金屬製銀色

- 一 短靴
- 看護婦取締看護婦
- 一 帽
- 一 看護服
- 給仕、小使、火夫、磨工
- 一 帽
- 一 冬服
- 一 夏服
- 下足番、浴室番、掃除番、賄夫
- 一 冬法被股引
- 一 夏法被股引



徽章
地質金屬製ニシテ
看護婦取締ハ金色
看護婦ハ銀色
各科ノ頭字ヲ刻ス



帽章
地質銅

第二條 給與品貸與品ノ員數及使用期限ハ左ノ如シ

守衛長、守衛

| 品目 | 員數 | 使用期限 | 給貸與別 |
|-------------|----|-------|------|
| 一 帽 | 一個 | 十二ヶ月 | 給與 |
| 一 冬服 | 一組 | 二十四ヶ月 | 給與 |
| 一 夏服 | 一組 | 四ヶ月 | 給與 |
| 一 外套 | 一着 | 三十六ヶ月 | 給與 |
| 一 短靴 | 一足 | 十二ヶ月 | 給與 |
| 一 帽章 | 一個 | 三十六ヶ月 | 貸與 |
| 看護婦取締、看護婦 | | | |
| 一 帽 | 二個 | 十二ヶ月 | 給與 |
| 一 看護服 | 二着 | 十二ヶ月 | 給與 |
| 一 徽章 | 一個 | 三十六ヶ月 | 貸與 |
| 給仕、小使、火夫、磨工 | | | |

| | | | |
|-----|----|-------|----|
| 一帽 | 一個 | 十二ヶ月 | 給與 |
| 一冬服 | 一組 | 十二ヶ月 | 給與 |
| 一夏服 | 一組 | 四ヶ月 | 給與 |
| 一帽章 | 一個 | 三十六ヶ月 | 貸與 |

下足番浴室番掃除番賄夫

| | | | |
|--------|----|------|----|
| 一冬法被股引 | 一組 | 十二ヶ月 | 給與 |
| 一夏法被股引 | 一組 | 四ヶ月 | 給與 |

婦女ノ給仕、小使、掃除番、賄夫
一作業衣 二着 十二ヶ月 給與

第三條 解備死亡ノ際貸與品又ハ使用期限ヲ終ラサル給與品アルト
キハ之ヲ返納セシム

第四條 貸與品又ハ使用期限ノ終ラサル給與品ヲ毀損亡失シタルト
キハ之ヲ辨償セシム

第五條 使用期限ハ交付ノ月ヨリ起算シ端日數ハ一ヶ月トシテ計算ス

但返納ニ係ル給與品ヲ更ニ交付シタルトキハ其使用期限ハ前後
通算スルモノトス

○宿直規程 (大正二年四月十六日)

醫員宿直

第一條 宿直員ハ夜間一回以上各病室ヲ巡視シ患者ノ動靜ヲ視察ス
ヘシ

第二條 宿直員ハ入院患者ニ異狀アリタルキハ速ニ相當ノ手當ヲ施
スヘシ但狀況ニ依リテハ其科ノ醫長醫員又ハ主任醫員補ニ急報ス
ヘシ

第三條 宿直員ハ其病室ニ關係アルモノ二名ツ、東西ニ分宿スヘシ

第四條 宿直員ハ醫員補、醫員副手四名ヲ以テ之レニ充ツ但醫學專門

部助教以上ノ職ニアル者ハ除クモノトス

第五條 宿直中ノ事故ハ日誌ニ詳記スヘシ

調劑員宿直

第六條 宿直員ハ調劑ヲ要求スル者アルトキハ速ニ調劑ヲ爲シ交附スヘシ

第七條 宿直員ハ夜間二回以上藥局内ヲ巡視シ諸般ノ事項ヲ警戒スヘシ

第八條 宿直員ハ調劑員一名ヲ以テ之レニ充ツ

但藥局主任ハ除クモノトス

第九條 宿直中ノ事故ハ日誌ニ詳記スヘシ

事務員宿直

第十條 宿直員ハ發着ノ文書物品ノ取扱ヒ宿直保管ノ物品ヲ管守シ翌日各主任者ニ交附スヘシ

但文書中至急ヲ要スルモノハ各宛名ノ者ニ配送スヘシ

第十一條 宿直員ハ入院其他ノ料金ヲ領收シタルキハ金櫃ニ格納シ

鎖鑰ヲ施シ翌日會計部主任ニ交附スヘシ

第十二條 宿直ノ翌日休日ナルキハ當日ノ宿直員ニ文書及金品ヲ引繼クヘシ

第十三條 宿直室ニハ非常用トシテ蠟燭二百丁内四丁大蠟燭郵券一圓分ヲ準備シ宿直員更代ノ際検査ノ上受授スヘシ

第十四條 宿直員ハ仙臺市内ニ於ケル災害ハ勿論縣内及隣縣ニ重大ナル災害アリタルコトヲ聞知シタルトキハ速カニ病室ニ揭示スヘシ

第十五條 宿直員ハ夜間一回以上院内ヲ巡視シ諸般ノ事項ヲ警戒スルノ外看護婦取締守衛及夜番人ノ勤務ヲ監督スヘシ

第十六條 宿直ハ事務員一名ヲ之ニ充ツ

但事務主任及女事務員ハ除クモノトス

第十七條 賄係ノ事務員ハ一名ツ、宿直シ夜間二回以上炊事場内外

ヲ巡視シ諸般ノ事項ヲ警戒スヘシ

第十八條 宿直中ノ事故ハ日誌ニ詳記スヘシ

機關手宿直

第十九條 機關手ハ一名ツ、宿直シ夜間二回以上機關室内外ヲ巡視シ

シ諸般ノ事項ヲ警戒スヘシ

第二十條 宿直中ノ事故ハ日誌ニ詳記スヘシ

附 則

第二十一條 本規程ハ大正二年五月一日ヨリ施行ス

○學用患者規程 (大正二年四月一日)

一患者ニシテ其病症學術研究上須要ト認ムルモノハ之ヲ學用患者トシ官費ヲ以テ治療ス但患者ノ希望若クハ本院ノ都合ニ依リ費用ノ

幾分ヲ徴收スルコトアルヘシ

二學用患者ノ治療ハ私費患者ト異ルコトナシ

三學用患者ハ入院患者及外來患者ノ二種トス

四入院患者萬一死亡シタルトキハ本人生前ノ情願ニ依リ局所又ハ全

身剖檢ニ付シ局ニ剖檢ノ場合ハ金參圓以上全身剖檢ノ場合ハ金五

圓以上ヲ祭祀料トシテ患者ノ遺族若クハ身元保證人ニ交付ス

五死體剖檢後ハ遺族又ハ身元保證人ニ於テ遺骸ヲ引取ルヘシ但情願

ニ依リ官費ヲ以テ葬祭ヲ行フコトアルヘシ

六入院ノ許可ヲ受ケタル者ハ入院證及剖檢承諾書ヲ提出スヘシ

七入院日數ハ通常一ヶ月以内トシ當該醫長ノ見込ニ依リ之ヲ定ム

八入院患者ハ醫員ノ承諾ヲ得スシテ猥リニ退院スルヲ許サス

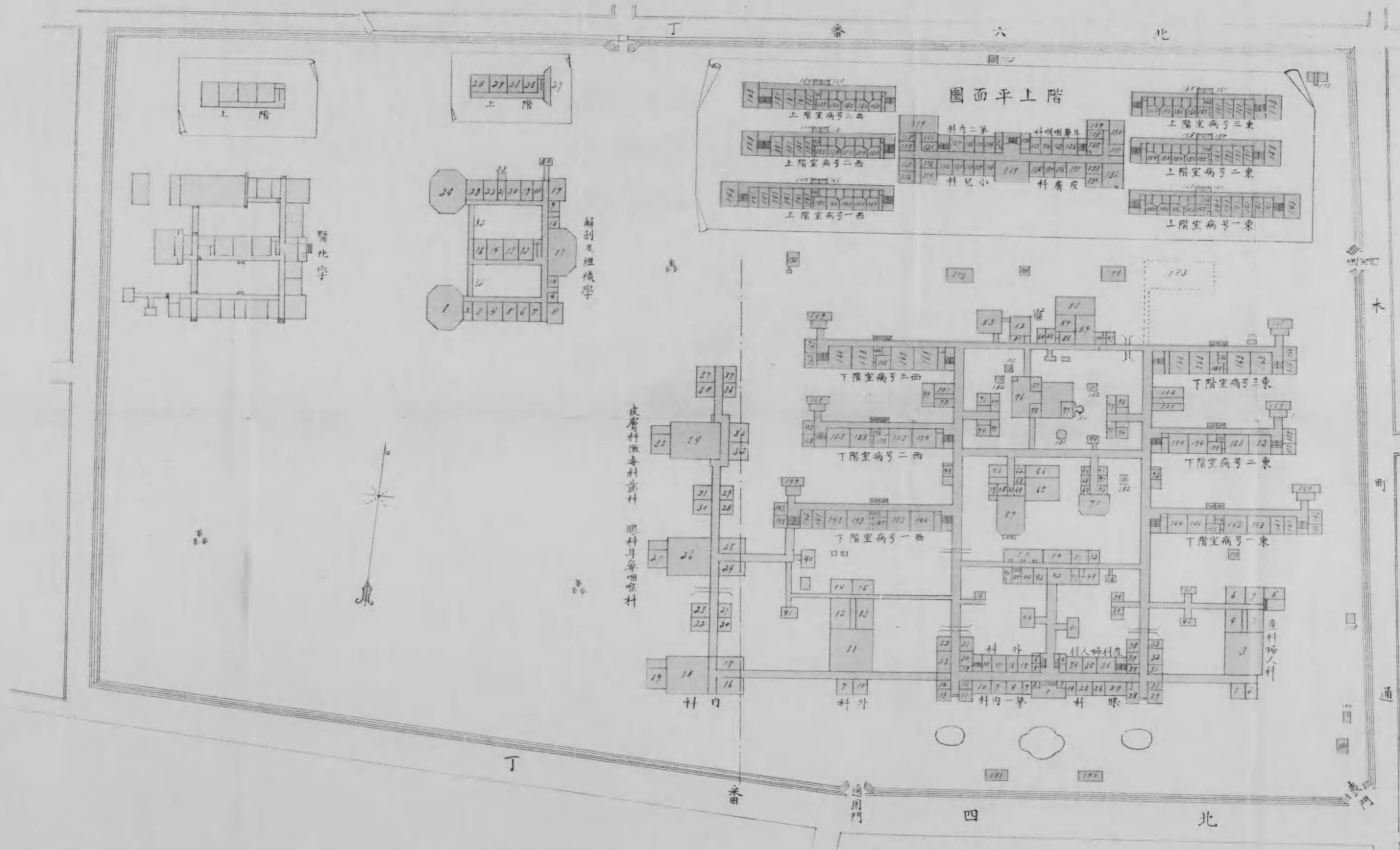
九學用外來患者ニハ各科醫長ヨリ治療券ヲ交付スヘシ

十學用患者ハ常ニ治療券ヲ携帯シ診療請藥ノ際掛員ニ示スヘシ

十一前各項ノ外入院患者心得、外來患者心得、費用ニ關スル部分ヲ除ク、
其他病院ノ諸規則ハ學用患者モ亦之ヲ遵守スヘシ

○第十四章 敷地建物

本部ハ仙臺市片平丁五十六番地第二高等學校敷地内ニ在リ之ニ建設
セル建物ノ面積ハ千百十八坪ニシテ外ニ同市北四番丁北五番丁北六
番丁ニ涉リ本部敷地面積參萬九千四百八坪ヲ有シ之ニ建設セル建物
ノ面積ハ四千六百二十五坪ナリ其建物及敷地ニ係ル詳細ハ別紙圖面
ニ載ス



東北帝國大學醫學專門部臨床實習室兼用講義室
及附屬醫院宮城病院平面圖
一千二百分之二

例

- 醫學專門部用地
- 醫學專門部建築
- 宮城病院建築
- 醫學專門部建築
- 全工事中

○附錄

東北醫學會規則

第一章 目的

第一條 本會ハ徳性ヲ涵養シ學術ヲ研磨シ身體ヲ鍛練スルヲ以テ目的トス

第二章 名稱

第二條 本會ヲ名ケテ東北醫會ト稱ス

第三章 位置

第三條 本會事務所ヲ東北帝國大學醫學專門部内ニ設置ス

第四章 組織

第四條 本會ハ正會員名譽會員特別會員及贊助會員ヲ以テ之ヲ組織ス

第一項 東北帝國大學醫學專門部教官及學生ハ正會員タルノ義務

アルモノトス

第二項 本會ニ特ニ功勞アルモノヲ以テ役員會ノ推薦ニ由リ名譽會員トス

第三項 特別會員ハ東北帝國大學醫學專門部元第二高等中學校醫學部元第二高學校醫學部及元仙臺醫學專門學校卒業生トス

第四項 東北帝國大學醫學專門部助手及同部ニ緣故アル者ヲ以テ役員會ノ議決ニヨリ賛助會員トナス

第五章 事業及集會

第五條 本會ノ目的ヲ達センカ爲メ左ノ各部ヲ設置ス

第一項 第一學術部

一 醫學及醫事ニ關スル事項ヲ處理ス

第二項 第二學術部

一 藥學ニ關スル事項ヲ處理ス

第三項 文藝科學部

一 文藝及科學ニ關スル事項ヲ處理ス

第四項 編輯部

一 本會ノ機關トシテ年四回會報ヲ發兌ス

第五項 擊劍部

第六項 柔道部

第七項 弓術部

第八項 野球部

第九項 庭球部

第六條 毎年二回大會ヲ開キ春季ヲ第一學術部第二學術部及文藝科學部ノ聯合大會トシ秋季ヲ運動ニ關スル大會トシ且ツ本部紀念日前後ニ於テ紀念陸上運動會ヲ開催ス

但シ紀念陸上運動會役員ハ幹事ニ於テ本會役員選舉法ニ從ヒ選

舉ノ幹旋ヲナスモノトス

第六章 會務

第七條 本會會務ヲ處理センカ爲メ左ノ役員ヲ置ク

| | | | |
|--------|----|---------|-----|
| 名譽會長 | 一名 | | |
| 會長 | 一名 | | |
| 副會長 | 一名 | | |
| 幹事長 | 一名 | 幹事 | 若干名 |
| 第一學術部長 | 一名 | 第一學術部委員 | 若干名 |
| 第二學術部長 | 一名 | 第二學術部委員 | 若干名 |
| 文藝科學部長 | 一名 | 文藝科學部委員 | 若干名 |
| 編輯部長 | 一名 | 編輯部委員 | 若干名 |
| 擊劍部長 | 一名 | 擊劍部委員 | 若干名 |
| 柔道部長 | 一名 | 柔道部委員 | 若干名 |

| | | | |
|------|----|-------|-----|
| 弓術部長 | 一名 | 弓術部委員 | 若干名 |
| 野球部長 | 一名 | 野球部委員 | 若干名 |
| 庭球部長 | 一名 | 庭球部委員 | 若干名 |
| 會計長 | 一名 | 會計部委員 | 若干名 |

第八條 役員ノ選舉法ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 第一項 名譽會長ハ東北帝國大學總長ヲ推戴ス
- 第二項 會長ハ東北帝國大學醫學專門部主事ヲ推戴ス
- 第三項 副會長幹事長其他各部長會計長ハ東北帝國大學醫學專門部教官ノ中ヨリ學生之ヲ選舉ス
- 第四項 出納主任及書記ハ東北帝國大學書記ニ囑託ス
- 第五項 幹事其他各部委員及會計委員ハ特別會員學生ヨリ選出ス
- 第九條 役員ノ任期ハ一ケ年トシ毎年五月之ヲ改選ス
但シ再選スルモ妨ケナシ

第七章 會議

第十條 役員會ハ役員ヨリ成リ毎年二回十月上旬及ヒ四月中旬ニ於テ開會シ又臨時必要ニ際シ會長之ヲ開クモノトス

第十一條 議決法ハ凡テ多數決トス若シ可否相半スルトキハ議長ノ意見ニ從フ

第十二條 教官正會員ハ役員會ニ列席スルヲ乞フコトアルヘシ但シ教官正會員ハ役員ト同等權利ヲ有スルモノトス

第八章 評議員會

第十三條 役員會ヲ開クニ迫アラサル緊急ノ會務ヲ處理スル爲メ本會ニ評議員會ヲ置ク

第一項 評議員會ハ會長副會長幹事長各部長會計長特別會員代表者一名及各級代表者各一名ヲ以テ組織ス

第二項 本會々長ハ必要ノ場合ニ於テ評議員會ヲ開キ其議長トナ

ルモノトス

第三項 特別會員代表者ハ特別會員ノ役員之ヲ互選ス

第四項 各級代表者ハ各級ノ役員之ヲ互選ス

第五項 評議員會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決シ可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第六項 評議員會ノ決議ハ次回ノ役員會ニ報告ス

第九章 會計

第十四條 本會ハ左ノ會費ヲ以テ維持ス

第一項 正會員ノ會費ハ一ケ年金貳圓六拾錢トス

第二項 特別會員ニシテ本會雜誌ノ配付ヲ受ケントスル者ハ雜誌代トシテ壹箇年金壹圓五拾錢ヲ前納スルモノトス

附 則

第十五條 毎年六月各部其ノ年度ノ豫算案ヲ編成シ會長ニ提出スヘ

シ

第十六條 各部ニ關スル細則ハ各部ニ於テ之ヲ定メ會長ノ許可ヲ受クヘシ

第十七條 規則ノ改正ハ會長ヨリ提出シタルモノ、外正會長十名以上ノ賛成ヲ得ルカ或ハ各部員ノ決議ヲ經テ役員會ニ提出スヘシ

大正三年一月廿八日印刷
大正三年一月三十日發行

編輯者兼 東北帝國大學醫學專門部

印刷者 千葉新治

仙臺市片平丁四十五番地

印刷所 早川活版所

仙臺市片平丁四十五番地
電話(八六〇番)

| |
|-----|
| 287 |
| 3 |

82

終

